



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 はるやま商事株式会社

コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 治山 正史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 岡部 勝之

TEL 086-226-7101

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,044	9.1	235	—	454	—	188	—
27年3月期第3四半期	33,050	△7.6	△842	—	△704	—	△668	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 184百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △669百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	11.61	11.56
27年3月期第3四半期	△41.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	59,330	34,425	58.0
27年3月期	60,877	34,431	56.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 34,412百万円 27年3月期 34,417百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	6.1	2,200	41.7	2,400	37.0	900	147.8	55.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	16,485,078 株	27年3月期	16,485,078 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	222,984 株	27年3月期	226,454 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	16,260,306 株	27年3月期3Q	16,238,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に緩やかな回復基調をたどる一方、円安による物価上昇や中国経済をはじめとした海外景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

特に衣料品小売業界におきましては、客数に天候不順の影響が一部見られたものの、客単価が上昇基調で推移したこともあり、前年に比べ全般的に好調に推移いたしました。

当社グループにおきましても、夏場の低気温や、11月から12月にかけて気温が極めて高く推移したことなどで客数に影響がりましたが、一方でMARIO VALENTINO(マリオ・ヴァレンティーノ)などの高級ブランドスーツの販売が好調であったことなどで、スーツの販売単価や客単価が上昇基調で推移したことや、新店出店効果などで、前年に比べ好調に推移いたしました。

加えて、少子高齢化等でスーツ着人口が減少傾向にある紳士服市場におきまして、当社グループは新しい商品カテゴリーの創造に取り組むとともに、非ビジネスカテゴリーの強化も積極的に実施しており、紳士服だけでなく様々な衣料品を通じて、お客様にご満足いただけるよう取り組んでまいりました。

商品面では、新しい商品カテゴリーの創造として、「健康」をテーマとした「HEALTH BIZ」をスタートし、その第1弾商品として「ストレス対策スーツ」を発売いたしました。「ストレス対策スーツ」は各種メディアで話題となるとともに、お客様からもご好評をいただき、売上に貢献いたしました。今後も当社は「健康」を事業のキーワードにして、新商品を開発するなど様々な施策に取り組んでまいります。また、当社のワイシャツ部門における最大のヒット商品であり、上質な着心地とアイロン不要でお手入れ簡単という快適さを訴求した「iシャツ」の更なる販売拡大に努めました。さらに、「はるやま」と「Perfect Suit FAcTory (パーフェクトスーツファクトリー)」で加藤和孝氏デザインによるブランド「KAZUTAKA KATOH Collection」の商品をスーツ、ジャケット、ワイシャツ、ネクタイを中心に発売するなど、ブランド商品の強化にも努めてまいりました。

レディス商品におきましても、従来の新入学生や新社会人向け中心の品揃えだけでなく、キャリア向け商品の品揃え強化やレディスフォーマル商品を充実させ、女性のお客様にも満足いただける売場作りにも取り組んでまいりました。

また、既存事業が前第3四半期に比べて好調に推移しているだけでなく、前期末より新たに連結子会社となったデザイナーズブランド「TETE HOMME」などを展開する株式会社テット・オムは、売上高、利益ともに予定通り推移しております。

店舗施策では、ショッピングセンター内を中心に積極的に出店するなど、合計で52店舗の増加となりました。一方で、契約期間満了などにより10店舗閉店した結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数494店舗となりました。

なお当社グループは衣料品販売事業以外に、100円ショップ事業、広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高360億4千4百万円（前年同四半期比9.1%増）と、増収となりました。また、営業利益2億3千5百万円（前年同四半期は営業損失8億4千2百万円）、経常利益4億5千4百万円（前年同四半期は経常損失7億4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8千8百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億6千8百万円）と、各段階利益においても大幅増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に未収入金が減少したこと等其他流動資産が14億1千5百万円減少したことや、現金及び預金が1億2千2百万円減少した一方で、商品が13億8百万円増加したこと等の理由により、流動資産が2億5千万円減少いたしました。また、閉店や減価償却などにより固定資産も12億9千6百万円減少し、その結果、総資産は前連結会計年度末に比べて15億4千6百万円減少し、593億3千万円となりました。

負債につきましては、主に未払金やリース債務が減少したこと等の理由により、前連結会計年度末に比べて15億4千1百万円減少し、249億5百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億8千8百万円があった一方で、2億5千2百万円の期末配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、344億2千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,324,402	7,202,118
受取手形及び売掛金	116,969	104,972
商品	13,678,304	14,987,106
貯蔵品	63,646	54,470
その他	5,358,470	3,942,954
貸倒引当金	△1,782	△1,840
流動資産合計	26,540,009	26,289,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,453,347	7,736,004
土地	11,851,669	11,777,167
その他(純額)	2,535,905	2,078,535
有形固定資産合計	21,840,922	21,591,707
無形固定資産		
のれん	23,109	19,258
その他	333,597	229,972
無形固定資産合計	356,707	249,230
投資その他の資産		
差入保証金	6,971,034	7,341,870
その他	5,192,494	3,884,889
貸倒引当金	△23,461	△26,554
投資その他の資産合計	12,140,067	11,200,205
固定資産合計	34,337,696	33,041,144
資産合計	60,877,706	59,330,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,201,568	9,031,540
短期借入金	-	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,083,460	1,765,967
未払法人税等	173,330	68,586
ポイント引当金	605,704	659,016
賞与引当金	4,000	9,000
店舗閉鎖損失引当金	153,124	133,585
資産除去債務	1,942	1,973
その他	5,051,531	3,841,685
流動負債合計	17,274,661	17,511,356
固定負債		
長期借入金	4,836,956	3,625,939
退職給付に係る負債	1,047,940	1,097,366
資産除去債務	1,067,377	1,136,877
その他	2,219,422	1,533,616
固定負債合計	9,171,697	7,393,799
負債合計	26,446,359	24,905,155

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	26,638,902	26,634,473
自己株式	△245,408	△241,637
株主資本合計	34,246,988	34,246,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,558	165,946
繰延ヘッジ損益	59	-
その他の包括利益累計額合計	170,618	165,946
新株予約権	13,741	13,496
純資産合計	34,431,347	34,425,771
負債純資産合計	60,877,706	59,330,926

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	33,050,058	36,044,786
売上原価	13,845,391	15,042,357
売上総利益	19,204,667	21,002,428
販売費及び一般管理費	20,046,772	20,767,337
営業利益又は営業損失(△)	△842,104	235,090
営業外収益		
受取利息	23,003	18,840
受取配当金	12,550	11,717
受取地代家賃	241,762	230,904
その他	65,898	122,436
営業外収益合計	343,215	383,899
営業外費用		
支払利息	49,140	53,065
賃貸費用	100,400	95,508
持分法による投資損失	51,207	—
その他	4,945	16,349
営業外費用合計	205,694	164,923
経常利益又は経常損失(△)	△704,583	454,066
特別利益		
固定資産売却益	5,511	34,570
リース解約益	—	46,451
特別利益合計	5,511	81,021
特別損失		
固定資産除売却損	194,804	89,115
減損損失	—	30,538
関係会社出資金評価損	81,161	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,016	11,376
その他	—	18,314
特別損失合計	280,982	149,345
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△980,054	385,743
法人税、住民税及び事業税	156,486	167,981
法人税等調整額	△467,843	28,917
法人税等合計	△311,356	196,898
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△668,697	188,844
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△668,697	188,844



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△668,697	188,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,405	△4,612
繰延ヘッジ損益	468	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	△25,373	—
その他の包括利益合計	△499	△4,671
四半期包括利益	△669,197	184,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△669,197	184,172
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。